

平成22年度 第10回安城市定例教育委員会会議録

日 時 平成23年1月13日（木）午後1時30分

場 所 安城市中央図書館 会議室

出席した委員 杉浦辰子 委員長
鳥居勇夫 委員長職務代理者
大見 宏 委員
榊原ちさと 委員
本田吉則 教育長

出席した職員 石川義彦 教育振興部長
都築昭彦 生涯学習部長
神谷敬信 生涯学習部次長兼生涯学習課長
平岩八尋 総務課長
杉山春記 学校教育課長
岩瀬慎次 給食課長
杉浦講平 体育課長
加藤喜久 中央図書館長
杉山洋一 文化財課長
宮川 守 総務課課長補佐

傍聴者 なし

開 会 午後1時32分

日 程

第 1 前回会議録の承認

平成22年11月18日開催の定例教育委員会会議録を承認

平成22年11月18日開催の臨時教育委員会会議録を承認

第 2 委員長、教育長等の報告

<委員長>

11月21日 教育委員行政視察（姫路市、大竹市、西条市）

～23日

11月28日 市民文芸まつり発表大会

12月 1日 市議会 開会

12月12日 第43回安城シティマラソン

1月 6日 市新年交礼会

1月10日 市成人式

<教育長>

1月19日 定例部課長会

1月20日 志貴小50周年記念式典

1月21日 教育委員行政視察（姫路市、大竹市、西条市）

～23日

1月24日 割愛面接

1月25日 秋の叙勲懇談会

1月26日 市就学指導委員会

1月28日 市民文芸まつり発表大会

1月29日 臨時市議会・全員協議会

1月 1日 市議会 開会

1月 2日 市議会 一般質問

1月 3日 市議会 一般質問

1月 4日 あんよう祭（安城養護学校）

1月 7日 市議会 議案質疑

1月 8日 定例校長会

1月 9日 市議会 市民文教常任委員会

放課後子どもプラン運営委員会

1月12日 第43回安城シティマラソン

1月13日 第1回校長面接

～14日

1月15日 割愛面接

市就学指導委員会

1月16日 市議会 閉会

1月17日 図書館協議会先進地視察（田原市図書館）

1月21日 サンタクロース施設訪問

1月24日 臨時指導部会

1月28日 環境管理委員会

仕事納め式

1月 4日 仕事始め式

1月 4日 市幹部会
1月 5日 定例部課長会
県・西三新年あいさつまわり
1月 6日 市新年交礼会
1月 7日 国際ソロプチミスト15周年Sクラブ認証式
(安城高校)
1月 9日 市消防出初式
1月10日 市成人式
市文化協会新年交礼会
1月11日 県都市教育長協議会総会・研修会(名古屋市)
以上に出席しました。

第 3 議 題

な し

第 4 報 告 事 項

- (1) 平成22年第4回市議会定例会報告について
・平成22年度12月補正予算について

報告事項(1)について総務課長、中央図書館長、文化財課長説明する。

委員長：「住民生活に光を注ぐ交付金」は今までありましたか。

文化財課長：この名称の交付金は今までないと思います。何が住民生活に光を注ぐのかは考えようですが、ある意味懐の広いといえますか間口の広い交付金で、博物館で考えているものとして複製を作ることによって住民に対して明治航空基地というのがどんな基地だったのか知っていただくことができますし、からくり人形は住民に対して知識欲を満たす、そういう意味で光を注ぐということだと思います。

- (2) 「安城市少人数学級編制の実施に係る市費負担教員の任用、給与等に関する条例の一部を改正する条例」について

報告事項(2)について学校教育課長説明する。

(質疑なし)

- (3) 「安城市少人数学級編制の実施に係る市費負担教員の給与等に関

する規則の一部を改正する規則」について
報告事項（３）について学校教育課長説明する。

（質疑なし）

（４）平成２２年度就学指導委員会結果報告について

報告事項（４）について学校教育課長説明する。

委員長：就学指導委員会の意見と保護者の希望がくい違うような場合、現状ではなかなか難しい状況があると思いますがどうですか。

学校教育課長：就学指導委員会は、その子どもにとってどの学校種がふさわしいか判定を行う機関です。それを受けて教育委員会として就学の措置をしていきますので、最終的には教育委員会の責任です。委員長が言われましたように親の希望を受けながら、指導中というところは協議をしている最中ですが、親の希望と異なる措置をすることは現状ではなかなか難しいところがあります。親の希望を十分聞きながら話し合いを進めていますが、結果的には親の希望がかなり強いものになるというのがこれまでの現状です。

委員長：安城市ではそういうことがなかったですが、他の市町では新聞記事になっているところもあります。親にとっては兄弟にも係わってくるし、個々の選択というのは難しいことだなと。みんなが快くステップを踏めるようになるといいと思います。

大見委員：就学指導について、新小学１年生と新中学１年生についての指導結果、審議結果の報告がありましたが、例えば途中で特別支援学級に移るべきかどうかという審査は行われていますか。

学校教育課長：市全体としての就学指導委員会が、その都度の開催がなかなか難しいものですから、それぞれの学校に校内就学指導委員会という組織があり、その中で、年度途中の異動の是非についての審議をし、教育委員会に報告いただいてそれを可能にしています。

鳥居委員：途中で変わるかどうかについて、私が学校医として参加していた二本木小学校で一例経験しました。通常学級から特別支援学級に移るかどうかの会議で、子どもをよく知っている先生が、その子どもがいることによってクラスがまとまると言いました。その結果、校長先生の意見は通常学級のままとりました。それから、過去に就学指導委員をやったことがありますが、親の気持ちからは通常学級に面子

上入れたいというところが非常に多いと思いますが、安城市の教育委員会の指導は丁寧で、粘り強くやってみえるなという印象を持っています。その伝統もずっと引き継がれているのではないかと思います。外部の人がいろいろなことを言い出すと止まらなくなります。親は周りが見えない中で希望を言われます。一般的には通常学級での教育を希望するという気持ちもわかりますが、専門の先生が少数の子どもを細かく指導している点では、今のやり方はそれなりの理屈が通っていると思います。

(5) 平成22年度卒業式並びに平成23年度入学式について
報告事項(5)について学校教育課長説明する。

(質疑なし)

(6) 平成22年度卒業式の出席について
報告事項(6)について学校教育課長説明する。

(質疑なし)

(7) 平成23年安城市成人式及びはたちの願い入賞者について
報告事項(7)について生涯学習部次長説明する。

大見委員：私は成人式で来賓席に座っていましたが、後ろに確か恩師の席がありました。成人式はどちらかと言うと同窓会的な雰囲気が強くなってきていると思います。昔からもそうだったと思いますが。恩師を呼ぶというのはどういう形で呼んでいるのか。たとえば、中学校3年生の時の先生を呼んでいるのか。あるいは、小学校6年生の時の先生を呼んでいるのか。それから、成人式はテレビでも報道がありましたが、ある程度新成人に運営を任せて、自主的にやらせるところがありますが、安城市の場合はどの程度新成人の意見を取り入れてやっているのか。これからどうしていくのか。私が見る限りでは、場所がデンパークということもありますが、はっきり言うとおごそかさがない。しゃべりたい人はしゃべっている。勝手に市長があいさつしている。そんな雰囲気です。屋内でやればもう少しきちっとした形でできるかもしれませんが、あのやり方でも悪いとは言いませんが、そういう方法をとるについても新成人の意見を入れていくことも考えた方がいいと思います。

生涯学習部次長：恩師は中学校3年生の担任の先生です。それから、新

成人のボランティアは今回5名の方に参加いただきました。そのボランティアの方で司会進行、後の抽選会等の司会もしていただきましたが、こちらがプログラムを組んでいます。今後は、できればボランティアの方を各中学校区一人ずつ、またはそれ以上の方にお手伝いいただけるように働きかけをしていきたいと考えています。デンパークという素晴らしい会場で、雨天の場合でも隣にフローラルプレイスがあって、そこでも開催したことがあるということです。室内だと静かかという私もわかりませんが、どのようにして席に座っていただくよう誘導するのかという問題があり、真ん中の空席が目立ってもいけませんので、デンパークで開催したいと内部的には考えています。新成人の意見をどのくらい反映させているかという点、アトラクションや、どういう抽選会にするかといったことを考えてもらっています。日にちも成人の日限定していきたいと考えています。

教育長：かつては市民会館で行っていましたが、そこでは式典とアトラクションを行っていましたが、毎年そこで問題になったことが、外で久しぶりに会った友達と語り合っていて会場になかなか入らないことでした。式典も成人にとってはあいさつばかりで魅力がないこともありました。デンパークができて会場を移しました。そうすれば、席に着いた着かないということではなくて立会的で、ステージを使うことによって安城市の施設利用ということもあるし、ある程度周辺に集まっていればやれるということで移したと理解しています。最近では公募して応募してきた成人の子たちに司会進行やアトラクションを考えてもらう部分では成人の意見を取り入れる形になってきています。式典がなかなか長時間は絶えられないので簡略化されてきて、あいさつも市長と他の議員がみえても議長だけで、短い時間になっています。あとはアトラクションと抽選会でそこにひきつけておくという形です。問題はなかなか話が聞けないことがあります。市民会館の時も同じ状況です。式という観念が参加する者に薄れてきている部分もあって、集まってくるのは久しぶりに仲間に出会えるという意味合いが強い。そういうことを変えたいということで、成人の人たちで実行委員会を作って、自分たちで成人式を行う市もあります。安城市もそういうことも考えましたが、市の規模が大きいと、その組織を立ち上げて自分たちの

代表という意識がなかなか生まれない。自分たちが作る式にする場合、会場は体育館のような所でパーティー形式にしたり、室内で座ってやる会場にしたりの方がやりやすい形になります。本当に自分たちの会だと意識されれば中に入って自分たちでやろうとなりますが、それだけの規模だとなかなかそこまで浸透できなくて、思うようにいかないということになりがちです。しかも、組織をどう作っていくのかという問題もあります。一つは中学校を卒業する時に代表を決めて成人式の委員を受け継いでいく方法がありますが、卒業してばらばらになってから各中学校の代表が集まれるかという問題点があります。また、公募という方法もありますが、実際どれだけ応募してくるか問題です。そういうことをいろいろ判断すると、今の形は、デンパークの入場者数にも貢献していますし、安城市にあるデンパークという施設を知ってもらうという意義もあり、一つの方法としてありかなという感じは持っています。実行委員会の代表で自分たちの成人式を作っていくとなると、かなりの労力としばらくの年数を必要としたいと思います。別に日程の問題もあります。成人の日でなくて、真ん中の日曜日に移す市も多くなっていますので、それも検討しましたが、出初式の関係とか一長一短があって結果的に今年度の形を踏襲しています。いろいろな考えができますが、デンパークで行う今のような形というのは一つの選択肢の有力な方法だと思っています。すぐにはなかなか変えられませんが、いろいろなご意見をいただいてより良い方向へ行けたらと思っています。

榑原委員：娘が中学を卒業する時に、先生が最後のあいさつで「次は成人式だね。」と言われました。先生と成人式で会えるんだと思いました。恩師の席にどれだけの先生が座ってみえたかわかりませんが、メッセージをお子さんが見ている、「何々先生のがない。」と叫んでいる子がいました。やはりすごく楽しみにしていたんだと思いました。それから、会場の近くでデンパークのお土産の袋詰め持った成人を見かけました。去年はなかったと思いますが、袋を持った成人がかなりいましたので、お土産券もかなり使われたのかなと思いました。手間もなく会場の入口にありましたので、とてもいいアイデアだと思いました。

生涯学習部次長：恩師の先生の出席は昨年が4名、今年が2名です。受付を通られた方です。

教育長：恩師の出席は、かつてはなかったと思います。恩師にお願いをしてメッセージを書いていただいて掲示する形をとっているのですが、ご案内をして席を用意しています。荒れていた時に、恩師にお願いしてある程度抑えることができないかと考えたこともあると聞きます。知立市は伝統的に3年生の担任が呼ばれて、舞台の上に立ち成人へメッセージを贈ります。かつての知立市だと転入以外は、知立中学校の卒業生ばかりですから、知立中学校の同窓会のような形でできました。それから、最近は、新しい傾向として卒業中学校ごとに自主的に二次会を設定するケースが増えてきました。新しい流れだと思います。また、今年はデンパークの駐車場が不足して、デンパーク側も慌てたという声がありました。推測ですが、今年は親御さんたちの参加が多かったと思います。両親そろって。今までは、親御さんは送って帰っていましたが今年は参加している。成人以外の入場者も多かったようですので、必ずしもはずれていないと思います。今後その傾向が強くなると思います。入学式、卒業式も両親そろってというのが学校現場でも多くなっていますので、その流れが成人式にもつながってくるのかなという感じがします。一方では子育てに関して男女共同参画ではありませんが、夫婦で関わるということはある意味いいのですが、子どもの自立を考えた場合、親の子離れ子どもの親離れが心配です。現に大学の入学式や卒業式でも親がついてくる。大学でも親子懇談会が行なわれるようですから。

生涯学習部次長：袋詰めはデンパークが千円のお土産券で千五百円くらいの物を入れていただいて、お得ですよということでその場でさばかれたということを知っています。それから、教育長も言われましたが、今は中学校の運動会も親が大勢見に来ています。その流れが成人式にもきているのかなと思います。

鳥居委員：市の成人式とは別に、各町で行っている所がどのくらいあるか把握していますか。

生涯学習部次長：どれだけやっているかは把握していません。

教育長：地域の神社がある所は比較的続いていると思います。少なくな

ってきているとは思いますが。

(8) 安城市青少年健全育成協議会委員の解職及び委嘱について
報告事項(8)について生涯学習部次長説明する。

(質疑なし)

(9) 安城市青少年街頭指導委員の解職及び委嘱について
報告事項(9)について生涯学習部次長説明する。

(質疑なし)

(10) 子どもたちの健やかな成長をめざして」(青少年健全育成推進
大会・市P連家庭教育講演会)の開催について
報告事項(10)について生涯学習部次長説明する。

(質疑なし)

(11) 平成22年度安城市青少年健全育成被顕彰者について
報告事項(11)について生涯学習部次長説明する。

(質疑なし)

(12) 平成22年度家庭の日啓発ポスター入賞者について
報告事項(12)について生涯学習部次長説明する。

(質疑なし)

(13) 市民ギャラリー郷土作家展「表現された人物像」の開催につい
て
報告事項(13)について生涯学習部次長説明する。

(質疑なし)

(14) 第52回市民芸術祭の開催結果について
報告事項(14)について生涯学習部次長説明する。

(質疑なし)

(15) 第6回愛知県市町村対抗駅伝競走大会結果について
報告事項(15)について体育課長説明する。

(質疑なし)

(16) 指定管理者の指定について
報告事項(16)について体育課長説明する。

(質疑なし)

(17) 平成23年度安城市中央図書館特別図書整理期間について
報告事項(17)について中央図書館長説明する。

(質疑なし)

(18) 平成23年度安城市中央図書館開館日等について
報告事項(18)について中央図書館長説明する。

(質疑なし)

(19) 開館20周年記念特別展「描かれた農 四季耕作図」の開催に
ついて

報告事項(19)について文化財課長説明する。

鳥居委員：狩野探幽の屏風が片方ずつしか展示されないですね。本当は
両方合わせて見たいと思いますが。

文化財課長：重要文化財ですと公開期間が3週間を一つの単位としてい
ることもありまして、貴重なものはそれぞれの美術館、博物館で公開
期間を厳しく設けてみえるところもあります。ご覧いただけない片隻
分につきましては、写真で見えていただけるようにして補ってまいりた
いと思います。

鳥居委員：片方を複製というわけにはいきませんか。

文化財課長：私どもの博物館では目玉の人面文土器は複製品を作ってい
ますので、他へ本物をお貸しした時は複製を展示したり、逆の場合も
ありますが、そうやってカバーをしています。仮に複製を持っていて
も両方ともお借りするというのは、一般的に難しいというのが実情で
す。

委員長：こういう展覧会は、このような屏風がセットで借りられますか。

文化財課長：一点一点、私どもで実際は私がセレクトをして、借用交渉
をしてお借りをしました。20周年記念で節目の大きな展覧会ですの
で、そういう意味で広範囲にお借りをしました。予算の範囲内ですが、
美術品専門で運搬する専用車を使用しますので、美術品の運搬だけで
保険料も含めまして三百数十万円は必要になります。

第 5 その他

鳥居委員が、最近のインフルエンザとノロウィルスの状況について説
明された。給食課長が、調理員については県の通達に基づいて十分注意
を払っている旨説明する。

閉 会 午後 2 時 5 7 分